

平成28年度「国有林モニターアンケート(第1回)」調査結果の概要について

国有林を開かれた「国民の森林」とするために、国有林モニターにご登録いただいた皆様からご意見やご要望をお聴きするため、アンケート調査を実施しましたのでご紹介します。

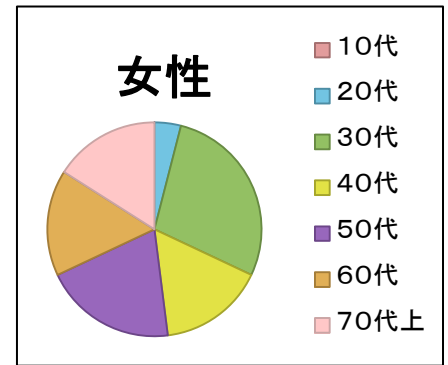
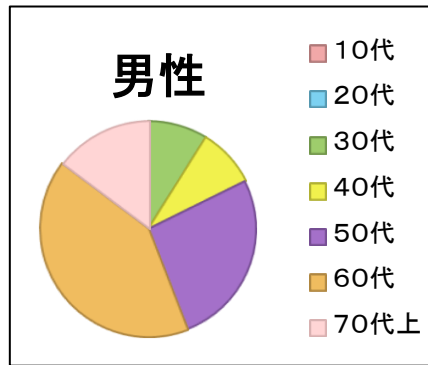
いただきましたご意見については、国有林野の管理経営や広報活動の参考として、今後の近畿中国森林管理局の各種取組に活かしてまいります。ご協力いただき、ありがとうございました。

1 調査時期	平成28年7月	
2 調査対象者	国有林モニター	59名
3 調査方法	アンケート用紙の郵送による回答、HP上での回答	
4 回収状況	アンケート依頼	59名
	アンケートの回答	51名
	アンケート回答率	86%

5 モニターの配置状況 管内、各府県ごとに、0～14名。(奈良県不在、広島県14名)

6 モニターの構成

区分	男性	女性	計
10代	0	0	0
20代	0	1	1
30代	3	7	10
40代	3	4	7
50代	9	5	14
60代	14	4	18
70代上	5	4	9
計	34	25	59



7 アンケート結果と意見(概要)

質問1	森林の「若返り」については、8割以上(①+②)の方から必要とのご回答がありました。
質問2	自宅の建築や家具(机など)の購入については、6割以上の方から木造住宅や木材を積極的に使用した製品を選択するとのご回答がありました。
質問3	質問2に関連して、国産材を使用するとのご回答が約9割でしたが、そのうち、安価であること、品質・性能・デザインを重視するという条件付の方が半数を超えています。
質問4	国有林に期待する働きについては、「水資源を蓄える働き」、「山崩れや洪水などの災害を防止する働き」、「二酸化炭素を吸収することにより、地球温暖化防止に貢献する働き」の3つで5割を超え、これらの機能について特に期待されています。
質問5	森林・林業において、最も早急に取り組む必要があるものについては、「森林作業の担い手確保」と「シカやイノシシなどの鳥獣被害対策」が特に必要であるとのご回答をいただきました。
質問6	良く見かける項目については、鳥獣被害、山地災害について多くの方からご回答をいただきました。また、目立たない項目については、新聞やテレビでもほとんど林業については出てこないのが現状であると複数の方からご回答をいただきました。
質問7	広報誌の記事については、林野5月号に掲載された「山形県金山町～林業で地方創生」と「森の名手」が特に印象に残った方が多く、今後取り上げてもらいたい記事としては、各地の林業発展に取り組む具体例の紹介や国産木材の良さなどのご意見をいただきました。
質問8	近畿中国森林管理局のホームページについては、「ゲームやプレゼントコーナーを作る」、「メルマガを配信する」、「Facebookを立ち上げる」などの意見をいただきました。
質問9	「平成28年度の重点取組事項について」の中で関心が高かったものは、シカ被害対策、治山対策の推進、森林とのふれあい、森林環境教育の推進についてでした。
質問10	いろいろな専門用語についてご意見をいただきました。毎年配布している用語集に追記させて頂きたいと思いません。